



2022年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社アンビションDXホールディングス
代表者名 代表取締役社長 清水 剛
(コード：3300 東証グロース)
問合せ先 執行役員兼経営管理部部長 尾関 文宣
電話番号 03-6439-8905

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2023年6月期を初年度とした3年間の中期経営計画(2023年6月期～2025年6月期)を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結数値目標

最終年度である2025年6月期には、連結売上高500億円、営業利益30億円の達成を目指します。

(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
売上高	34,510	39,000	50,000
営業利益	1,508	2,200	3,000
経常利益	1,371	2,000	2,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	838	1,300	1,700

2. 策定の背景及び方針

当社は、都心デザイナーズマンションの賃貸管理事業を中心に、開発・企画・仕入れ・仲介・販売・保険までをワンストップで提供し、そこで得た不動産ビッグデータを活用した不動産DX(デジタルトランスフォーメーション)事業を推進しております。

創業時の賃貸管理事業から、事業立上げやM&Aなどにより一気通貫でカバーする総合不動産グループへと業容を拡大し、2014年6月期の上場時点から、売上は約6倍、利益は約8倍へと大きく業容を拡大してまいりました。

一方、不動産業界を取り巻く事業環境は、不動産契約などのデジタル化の推進やコロナ禍をきっかけとしたワークスタイルの変化や非効率・非生産的な業務などへの課題意識等、外部環境が大きく変化しております。

このように環境が激変する中、当社グループはDX（デジタルトランスフォーメーション）によって自社の事業変革と不動産業界全体の変革を目指しつつ、改めて社内外に具体的な目標値と方向性を示すため、本中期経営計画を策定いたしました。

3. 中期経営計画の概要

(1) ビジョン

『DXによって不動産ビジネスを変革し、デジタルとリアルを融合した唯一の不動産デジタルプラットフォーマーになる。』

(2) 中期経営計画の基本方針

『既存事業の成長を軸に、新規事業へ積極的に挑戦する。』

① トップラインの非連続成長

- 大型案件の獲得に向けたリソース投下
- M&A・アライアンス・ベンチャー投資を加速し、業容を拡大

② DXによる利益率の向上

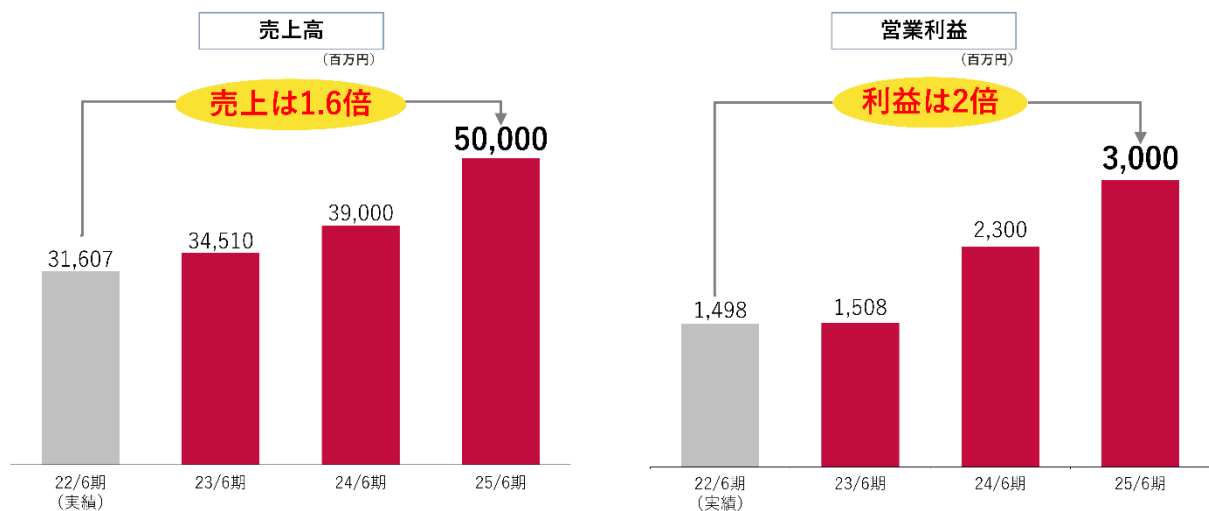
- DX推進により業務効率化を行い、中核事業の売上と生産性を向上

③ 新規事業の創出

- 自社グループで開発・実装し、外部ニーズが高いデジタルプロダクトを外部へ販売
- 不動産周辺領域（リフォームなど）への積極的なM&Aやアライアンスの推進

④ 経営基盤の抜本的強化

- システム開発体制の強化（ベトナムでのオフショア、アライアンス構築）
- 人材教育と優秀な人材の採用体制強化



なお、本中期経営計画については、本日公表いたしました当社の「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」においても盛り込んでおりますのでご覧ください。

(注) 本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。

以 上